

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年6月9日～2016年6月15日)

平成 28 年(2016 年)6 月 17 日

H E A D L I N E S

政治

ベニス委員会、警察法に関する意見書を採択
 政府、欧州委員会の「法の支配メカニズム」の下での意見書への見解を期限内に示さず
 ポーランド・ルーマニア・トルコ3カ国外相会合の開催
 カツペルチク外務次官のバルト海諸国評議会出席
 アナコンダ演習にロシア軍将校が視察
 V4諸国とウクライナとの協力文書調印
 ドゥダ大統領のデンマーク訪問
 マチェレヴィチ国防大臣がアナコンダ演習を視察
 ドゥダ大統領がアナコンダ演習を視察
 ヴァシチコフスキ外相のフランス外相との会談
 ワイマール・トライアングル副大臣級会合開催
 マチェレヴィチ国防大臣はNATO国防相会議に参加

経済

グラピンスキ金融政策委員が中央銀行総裁に任命
 英国がEU離脱しても永続的な影響はないと財務大臣発言
 欧州での魅力的な投資先ランキング
 消費者物価が前年同期比0.9%下落
 デフレが減退の見込みと開発相発言
 グラフェンの利用可能性について議論
 2022年万博のウッチ開催を申請
 新たな起業支援策を立ち上げ
 ドゥダ大統領、デンマーク首相とバルト・パイプラインについて議論

大使館からのお知らせ

在外選挙に関するお知らせ
 イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

ベニス委員会、警察法に関する意見書を採択【10日】

10日、ベニス委員会は、ポーランドの警察法に関する意見書を採択した。同意見書は、本年初めの警察法改正は2014年の憲法法院の判決の多くの点に従うもので評価できるとしつつも、秘密監視を実行するための手続的保障及び実質的条件がいくつかの点にて監視措置の過剰使用を防ぐに十分ではなく、個人のプライバシーへの制限として正当化できないと評価している。

政府、欧州委員会の「法の支配メカニズム」の下での意見書への見解を期限内に示さず【15日】

1日に欧州委員会が「法の支配メカニズム」の下にて採択したポーランドの憲法法院問題に関する意見書に関し、ポーランド政府は15日までに同意見書に関する自国の見解を示すことが求められていたが、政府は期限内に回答しなかった。シドゥオオ首相は14日、政府は欧州委員会に対し然るべきタイミングで見解を提出する、我々は欧州委員会に憲法法院問題に関する国内の取り組みを伝達する旨述べた。なお15日、与党「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首は、欧州委員会の「法の支配メカニズム」はEU条約に基づいたものではなく、ポーランドは同メカニズムに拘束されないとの見解を示している。

外交・安全保障

ポーランド・ルーマニア・トルコ3カ国外相会合の開催【9日】

9日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにて、コマネスク・ルーマニア外相及びチャウショール・トルコ外相との3国外相会合を開催し、NATO東方地域での軍事力強化、テロとの戦い及び難民危機について意見交換した。

カツペルチク外務次官のバルト海諸国評議会出席【9日】

9日、カツペルチク外務次官は、ワルシャワにて開催されたバルト海諸国評議会(CBSS)副大臣級会合に出席した。同会合では、組織犯罪対策及び安全保障等の分野における将来的な協力に関するガイドラインを含む「ワルシャワ宣言」の他、同地域の持続可能な開発へのコミットメントを示した「バルト海2030」が採択された。

アナコンダ演習にロシア軍将校が視察【9日】

6日～9日、ロシア軍の4人の将校団は、ヴェンジェン演習場及びドラフスコ演習場で実施されているアナコンダ演習を視察した。本視察は、信頼醸成措置の一環として、ウィーン文書2011に明記されている情報公開と視察に基づきロシア側が要請したものである。

V4諸国とウクライナとの協力文書調印【9日】

7日、ブリュッセルにおいて、ポーランド国防省EU代表部は、チェコ、スロバキア及びハンガリーのV4諸国の国防省EU代表部並びにウクライナ国防省とともに、ウクライナがEUのV4戦闘グループに加入し、協力を行っていくことに合意した。

ドゥダ大統領のデンマーク訪問【10日】

8～10日、ドゥダ大統領はデンマークを訪問し、ラスムセン首相とNATOワルシャワ首脳会合、経済関係、エネルギー、移民問題及びイギリスのEU離脱の可能性について意見交換した。

マチェレヴィチ国防大臣がアナコンダ演習を視察【13日】

12日、マチェレヴィチ国防大臣は、ノバデンヴィアの陸軍トレーニングセンターを訪問し、アナコンダ演習を視察するとともに、米欧州陸軍司令官ベン・ホッジ中將等と対談を行った。大臣は、アナコンダ演習は完璧に準備され、予備役との連携及び同盟軍との良好な協力関係の構築に関して、成果を得ていると述べた。また、領域防衛部隊は、9月までに編成し、2016年から2017年にかけて準備を行うと言及した。

ドゥダ大統領がアナコンダ演習を視察【14日】

13日、ドゥダ大統領は、ドラフスコ演習場を訪問し、アナコンダ演習の一つの訓練である、多国籍部隊による渡河訓練及び砲兵、ヘリによる射撃訓練を視察した。大統領は、アナコンダ演習の実施によって集団防衛の即応性を明らかにすることができたと述べた。

ヴァシチコフスキ外相のフランス外相との会談【13日】

13日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド・フランス友好・連帯条約25周年関連行事でワルシャワを訪問中のエロー仏外相と会談し、NATOワルシャワ首脳会合、ワイマール・トライアングル協力及び二国間関係について意見交換した。

ワイマール・トライアングル副大臣級会合開催【13日～14日】

13日～14日、ワルシャワにて、ワイマール・トライアングルの独・仏及びポーランド3カ国の外務副大臣会合が開催され、ロス独外務副大臣、デズイエ仏外務副大臣及びシマンスキ・ポーランド外務副大臣は、EUの将来、英国のEU離脱に関するシナリオ、6月のEU理事会について意見交換した。

マチェレヴィチ国防大臣はNATO国防相会議に参加【13日】

14～15日、マチェレヴィチ国防大臣は、ブリュッセルで開催されたNATO国防相会議に参加した。スト

ルテンベルグNATO事務総長は、14日、4個大隊の展開に関して、800人から1000人で構成される大隊を、それぞれ、ドイツからリトアニアへ、英国からエストニアへ、カナダからラトビアへ、米国またはカナダからポーランドへ、6ヶ月から9ヶ月のローテーション展開する予定であると発表した。また、黒海において拡張するロシアを警戒するルーマニアとブルガリアに配慮し、ルーマニアに多国籍旅団の司令部を編成する予定であると述べた。

マチェレヴィチ国防大臣は、シュチェチンに現在駐屯する多国籍軍の司令部と部隊を増強改編し、師団級の司令部をポーランド国内に編成される予定であると述べた。

経 済
経済政策

グラピンスキ金融政策委員が中央銀行総裁に任命【10日】

下院は、マレク・ベルカ中央銀行総裁の後任としてアダム・グラピンスキ氏を投票で任命。66歳のグラピンスキ氏は1950年ワルシャワ生まれ。1972年ワルシャワ経済大学卒で、2度の閣僚経験(建設大臣:1991年、対外経済関係大臣:1992年)、カチンスキ大統領の経済顧問を務めた経験もあり、2010年より金融政策委員。保守的なエコノミストと評されるグラピンスキ氏は、ポーランド経済は堅調で金利変更の必要はないとの立場であり、今後、ポーランド

のデフレとスイスフラン建て住宅ローン問題への対処が注目される。

英国がEU離脱しても永続的な影響はないと財務大臣発言【14日】

14日、シャワマハ財務大臣は、英国が23日の国民投票の結果EUを離脱することになったとしてもポーランドの経済に永続的な影響はなく、離脱する場合も準備はできていると発言した。他方、シドゥウオ首相は英国のEU残留がポーランドにとっても重要であると発言した。

マクロ経済動向・統計

欧州での魅力的な投資先ランキング【9日】

アーンスト・ヤング(EY)社発表の報告書によれば、ドイツ、英国、フランス、オランダに続き、ポーランドが欧州で5番目に魅力的な海外直接投資先として挙げられている。2015年のポーランドの新規雇用は対前年比27%増の19,651人、投資件数は対前年比60%増の211件。

消費者物価が前年同期比0.9%下落【13日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の消費者物価は対前年同月比0.9%減で、対前月比0.1%増。

デフレが減退の見込みと開発相発言【13日】

モラヴィエツキ開発大臣は、ソポトの欧州金融会議で、年末にかけてデフレが収縮していく見込みと発言。

ポーランド産業動向

グラフェンの利用可能性について議論【13日】

13日より1週間、炭素繊維素材グラフェンの活用について議論する「Graphene Week」がワルシャワ大学において開催される。同会議は欧州委員会が支援するグラフェン研究開発計画の一環として行われるものであり、開催期間中、約40か国700名の研究者等が参加する見込み。

グリンスキ副首相兼文化・国家遺産大臣とズダノフスカ・ウッチ市長は、2022年の万博開催都市としてパリの国際博覧会事務局に申請した。ポーランドの提案する万博のテーマは都市部の再活性化。2017年にホスト都市が決定される見込み。

2022年万博のウッチ開催を申請【15日】

新たな起業支援策を立ち上げ【15日】

政府は、Start In Polandという総額30億ズロチ規模の起業支援策を立ち上げた。主にEU基金や一部

の民間資金を財源としている。5月に設立されたポーランド開発基金が窓口となり、今後7年間で約1,50

0社の立ち上げを支援することを見込んでいる。

エネルギー・環境

ドゥダ大統領、デンマーク首相とバルト・パイプラインについて議論【9日】

デンマークを訪問したドゥダ大統領は、ラスムセン首相とポーランド、デンマーク及びノルウェーを結ぶバルト・パイプラインについて議論を行った。会談後

のビジネスフォーラムに出席した大統領は、会談内容に触れつつ、バルト・パイプラインの実現に向けたFS調査が今年中に完了することに期待すると述べた。

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ

6月23日から7月2日まで、当館にて第24回参議院通常選挙に伴う在外投票が行われます。詳しくは当館のホームページを御覧下さい。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起

1. 5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。同声明では、特に欧米諸国におけるテロの実行を呼びかけており、民間人を対象としたいわゆる一匹狼(ローンウルフ)型のテロの発生も懸念されます。本年については、6月6日頃から7月5日頃までが、ラマダン月(イスラム教徒が同月に当たる約1か月の間、日の出から日没まで断食する)に当たります。また、ラマダン終了後には、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

2. ISIL は、昨2015年のラマダン月(6月18日頃～7月17日頃)においても、同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、昨年のラマダン期間中には、チュニジア沿岸部スースのリゾートホテル及び隣接するビーチが武装集団に襲撃され、外国人観光客38人が殺害されるテロ事件(6月26日)のほか、以下のテロ事件が発生しています。犯行主体は、ISIL 関連組織に限られませんので、様々なイスラム過激派によるテロに警戒が必要です。

- ・フランス: 東部リヨンにおけるテロ事件(6月26日)
- ・クウェート: シア派モスクにおける自爆テロ事件(6月26日)
- ・エジプト: カイロ郊外における検事総長殺害テロ事件(6月29日)
- ・マリ: 北部における国連車列襲撃テロ事件(7月2日)
- ・ナイジェリア: 北部及び中部での連続爆弾テロ事件(7月5日～7日)
- ・エジプト: カイロ市内のイタリア総領事館前での爆弾テロ事件(7月11日)

なお、上記事件のうち、複数の国で大規模なテロが発生した6月26日は金曜日に当たります。イスラム教では、金曜日が集団礼拝の日であり、その際、モスク等宗教施設やデモ等を狙ったテロや襲撃が行われることもあります。なお、本年のラマダン月については、6月10日、17日、24日、7月1日が金曜日に当たります。

3. ついては、特にラマダン(特に金曜日)及びイード期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所(モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4. なお、本年のラマダン期間中(6月6日頃から7月5日頃)には、仏において、サッカーの欧州選手権(6月10日～、同日はラマダン月最初の金曜日)、自転車のツール・ド・フランス(7月4日～)が予定されています。そのような世界的に注目を集めるイベントについても、テロの標的となる可能性があります。

仏でのイベントに関する注意喚起については、以下も参照してください。

・「フランス：サッカー欧州選手権等イベント開催に伴うテロの脅威に関する注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C152>

5. 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合には、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。

3か月以上滞在する方は、必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

3か月未満の旅行や出張などの際には、「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#>)

本件詳細については、以下のリンク先をご参照下さい。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C153>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

文化行事・大使館関連行事

【開催中】文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム【6月9日(木)～10日(金)】

トルン市にて、ニコラウス・コペルニクス大学日本学科・ポーランド日本研究協会共催による『文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム』が開催されます。谷崎潤一郎の作品に関する講演が予定されています。

開催場所：クヤヴィ＝ポモージェ県、トルン市、Collegium Humanisticum, ul. Władysława Bojarskiego 1

詳細：http://www.home.umk.pl/~pjkj_umk/tanizaki.torun2016main.html

【開催中】地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演【6月16日(木)～7月1日(金)】

ポーランド7都市：ブロツワフ、タルノフスキエグリュ、クラクフ、ワルシャワ、グダンスク、コビルニツァ、ズウプスクにて、一般社団法人地唄舞普及協会主催による『地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演』が開催されます。

詳細：<http://tokijyo.com/view/event.html>

【予定】日本文化との出会い【6月18日(土) 11時～】

ウッチ市にて、愛基金(フンダツィア・愛)主催による『日本文化との出会い』が開催されます。日本知識コンクール及びアニメ上映会の他、水谷監督(ウッチ映画大学4年生)による「ねずみの嫁入り」に基づく演劇「恋探し」が予定されています。

開催場所:ウッチ県,ウッチ市, ul. Tuwima 34

詳細:<http://ja.fundacja-ai.pl/>

【予定】国際ポーランドカップ柔道選手権大会 ソラニンカップ 2016【6月18日(土)~19日(日)】

ノヴァ・スル市にて、ノヴァ・スル市学生スポーツクラブ「オリンピ」主催による『国際ポーランドカップ柔道選手権大会 ソラニンカップ 2016』が開催されます。

開催場所:ルブスキエ県,ノヴァ・スル市, ul. Botaniczna

詳細:<https://www.facebook.com/events/174350719608668/>

【予定】作法の権威【6月19日(日)~25日(土)】

梅見基金主催による小笠原流次期宗家小笠原清基氏による礼法についての講演が開催されます。

日程:

6月19~20日 プレゼンテーション(弓道,茶道),クラクフ

6月21~22日 講演・デモンストレーション「日常生活における礼法の役割・意味」,ヴロツワフ

6月23~25日 プレゼンテーション「日本における礼法の歴史と現在」ワルシャワ大学,「日常生活及び武道における礼法」ミシャドウオ市文化・スポーツセンター,「日本人とのコミュニケーションに役立つ礼法」,ワルシャワ市スウジェフ文化センター

詳細:http://umemi.pl/?page_id=454

【開催中】日本人形展【3月20日(日)~6月26日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催中です。

開催場所:マウオポルスカ県,クラクフ市,日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細:<http://manggha.pl/>

【予定】ポトカルパチェ県日本文化フェスティバル「ロータス」【7月2日(土)~3日(日)】

ジェシュフ市にて、KRIS 協会主催による『ポトカルパチェ県日本文化フェスティバル「ロータス」』が開催されます。日本文化・歴史・ポップカルチャーについて講演・ワークショップ(武道,着物,日本刀,漫画,アニメ, J-ROCK, コスプレ等)が予定されています。

開催場所:ポトカルパチェ県,ジェシュフ市, ul. 3 Maja 15

詳細:<http://festiwallotus.cba.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp(ご連絡は電子メールでお願いします。)